

取替握玉錠 W²-DAC

取付説明書

株式会社 **ユーシン・ショウワ**

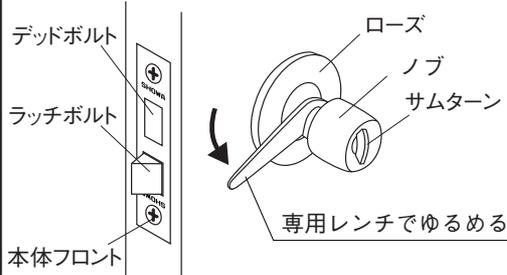
本製品は内部等に使用する錠であり、指定建物錠ではありません。

部品一覧表 (下記の部品が入っています)

名称	数量	扉厚			
		タイプ	25~29mm未満	29以上~33mm未満	33以上~43mm
外部ノブ	1	ロールバック片	1タイプ ショウワ: インテグラル 美和: HBZSP-2 ゴール: UC,G アルファ: Wロック その他	(出荷時はこちらが組み込まれています)	
内部ノブ	1		数量 各1本 ヒナカ等マークH 巾狭タイプ		
引付板	1		2タイプ 美和 HM		
キー	5		数量 各4本 美和 HMS		
専用レンチ	1		美和 145 HM		
		ローズ締付ネジ 数量 各2本	サラ小ネジ	M5×20	サラ小ネジ M5×30

1 現在取り付いているノブ(握玉)の取り外し

内部ノブのローズ(丸座)を左にまわすとノブがはずれます。
(専用レンチ又は直接ローズをまわす)

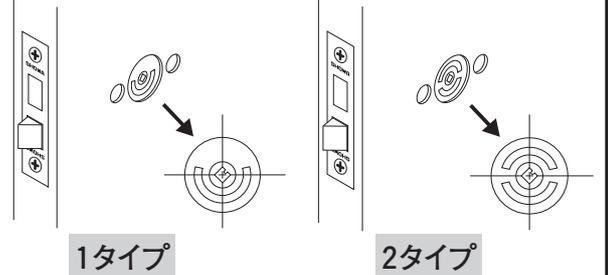


MIWA「HBZSP-2」ノブの取り外し



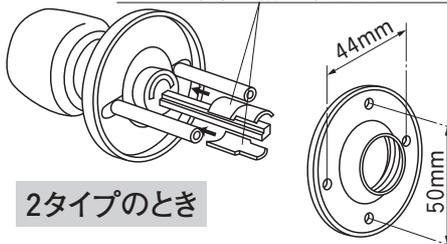
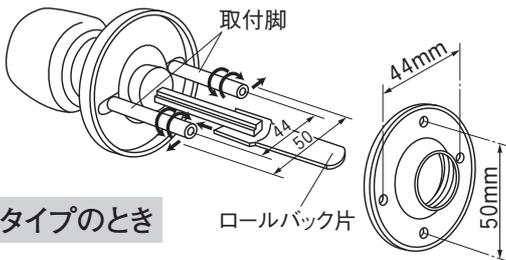
2 錠ケース本体の確認

取り替えられる錠にはロールバック片(半月板)1つのものと2つのものがあります。



3 ロールバック片(半月板)をノブに差し込む

外部ノブと内部ノブにロールバック片を上下1本ずつ計4本差し込んで下さい。



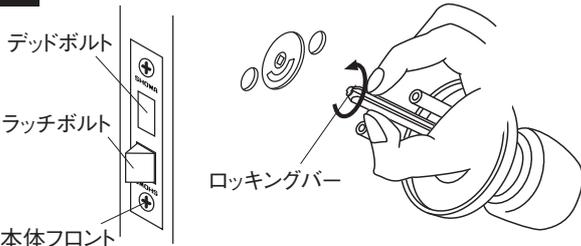
組み込みの注意事項

※内側のノブにも同様にロールバック片を当りまで十分に差し込んで下さい。

※肩部が同一高さになるまで入れて下さい。

但し、抜け落ちない様、入れる時かたくしてありますので奥まで確実に入れて下さい。

4 ノブの取り付け≫ロッキングバーの入れ方



《デッドボルトがラッチボルトの上にある場合》

- 扉に向かって(ノブを差し込む側から)、錠が扉の左側に取り付けられている場合は、ロッキングバーを右に止まるまで回してから、ノブを扉に差し込んで下さい。(左図)
- 錠が扉の右側に取り付けられている場合は、左に止まるまで回して下さい。

《デッドボルトがラッチボルトの下にある場合》

- 扉に向かって(ノブを差し込む側から)、錠が扉の左側に取り付けられている場合は、ロッキングバーを左に止まるまで回してから、ノブを扉に差し込んで下さい。
- 錠が扉の右側に取り付けられている場合は、右に止まるまで回して下さい。

【ご注意】間違えますとノブは回りません。その時は、取り外して上記に従って取り付け直して下さい。

品名 取替握玉錠
W²-DAC

耐ピッキング性能
10分以上

出荷時カギ本数
5本

株式会社 **ユーシン・ショウワ**

※耐ピッキング性能: ピッキング(シリンダーのかぎ穴に特殊工具を差し込んで錠を操作する方法)による解錠を防ぐ性能
※出荷時カギ本数: ロック製造メーカーがシリンダー錠又はシリンダーとセットで出荷する「カギ」の本数
※耐ピッキング性能は一定の社内基準における性能であり、あらゆる状況において侵入を阻止できる性能ではありません。